

教会が鳴らす「いつもの鳴らし方」は、下記のような、「お告げの祈り」と「アレルヤの祈り」に合わせた鐘の音でしょう。

参考ですが、有名な画家であるミレーの「晩鐘」という絵は、この「お告げの祈り」に合わせて、仕事の手を休め、鐘に合わせて、「お告げの祈り」をしている人の姿を描いていると思います。

お告げの祈り・アレルヤ唱の時に鳴らす鐘の音

お告げの祈りとアレルヤの祈りで鐘を鳴らすタイミングがあります。

昼の 12 時と夜の 18 時の鐘は「お告げ」といわれます。

その時の金に合わせて、復活節には「アレルヤ唱」を、それ以外は「お告げの祈り」を唱えます。

鐘を鳴らすタイミングは以下のとおりです。

お告げの祈りの鐘を鳴らすタイミング

お告げの祈り	
主のみ使いのお告げを受けて、 マリアは聖霊によって神の御子をやどされた。 （アヴェ・マリアの祈り）	→この祈りをしているときに鐘を鳴らす。 →アヴェ・マリアの祈りの時には鐘を鳴らさない。
わたしは主のはしため おことばどおりになりますように。 （聖母マリアへの祈り）	→この祈りをしているときに鐘を鳴らす。 →アヴェ・マリアの祈りの時には鐘を鳴らさない。
みことばは人となり、 わたしたちのうちに住まわれた。 （聖母マリアへの祈り）	→この祈りをしているときに鐘を鳴らす。 →アヴェ・マリアの祈りの時には鐘を鳴らさない。
神の母聖マリア、わたしたちのために祈ってください。 キリストの約束にかなうものとなりますように。	→この祈りをしているときに鐘を鳴らす。

祈願 神よ、み使いのお告げによって、御子が人となられたことを知ったわたしたちが、 キリストの受難と十字架を通して復活の栄光に達することができるよう、恵みを注いでください。 わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。	→「祈願」の時には祈る間中、鐘を鳴らし続ける。
---	--------------------------------

アレルヤの祈りと鐘のタイミング

アレルヤの祈り 神の母聖マリア、お喜びください。アレルヤ。 あなたにやどられた方は、アレルヤ。 おことばどおりに復活されました。アレルヤ。 わたしたちのためにお祈りください。アレルヤ。 聖マリア、お喜びください。アレルヤ。 主はまことに復活されました。アレルヤ。 祈願 神よ、あなたは御子キリストの復活によって、世界に喜びをお与えになりました。キリストの母、聖マリアにならい、わたしたちも永遠のいのちの喜びを得ることができますように。 わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。	→この祈りの時、鐘を鳴らす。 →この祈りの時、鐘を鳴らさない。 →この祈りの時、鐘を鳴らす。 →この祈りの時、鐘を鳴らさない。 →この祈りの時、鐘を鳴らす。 →この祈りの時、鐘を鳴らさない。 →「祈願」の時には祈る間中、鐘を鳴らし続ける。
---	--